

# GitHub Pages と静的ウェブページ

東京大学情報システム部 前田朗



## 1. GitHub Pages とは

GitHub はシステムのコードを保存・バージョン管理・共有できるサービスである。機能に静的サイトを公開できる GitHub Pages があり、講習ではこれを使う。同様に静的サイトを公開できるサービスとして Netlify もある。

静的サイトは、Web サーバ上でコンテンツを動的に書き換えることはせず、固定（静的）の HTML・CSS・JavaScript を Web ブラウザに配信する。Web 画面上でアクションを必要とするときは、Web ブラウザ上で JavaScript を動作させることで行える。たとえば、JavaScript から Web API を呼び出すことで外部サーバシステムとのリアルタイム連携も可能である。また、書籍など複数アイテムを提示する Web ページの場合、データベースとのリアルタイム連携ではなく、あらかじめデータベースの情報から各アイテムのページを一括生成しておく方法もある。

なお、GitHub Pages で作成したサイトはインターネットで一般公開となるため、著作権（デザイン、コード、画像等）には注意が必要である。

[GitHub Pages を使ってみる]

<https://docs.github.com/ja/pages/getting-started-with-github-pages>

## 2. GitHub Pages の使用制限

現状並びに詳細は GitHub Pages の説明ページ（以下）を参照のこと。

[GitHub Pages について – 使用制限]

<https://docs.github.com/ja/pages/getting-started-with-github-pages/about-github-pages#usage-limits>

[GitHub の GitHub Pages に関する追加製品の利用規約]

<https://docs.github.com/ja/github/site-policy/github-terms-for-additional-products-and-features#4-pages>

### 3. Netlify

GitHub Pages 以外にも静的ウェブページを公開できるサービスに Netlify がある。個人プロジェクトや実験用の無料プランもある。

[Netlify]

<https://www.netlify.com/>

Netlify では以下の特徴を備えているらしい。

- ・ GitHub との連携機能がある
- ・ Netlify CMS (ヘッドレス CMS = Web 公開用のユーザインターフェイスを持たない CMS) の提供も行っている

### 4. 静的サイトジェネレータ Jekyll

静的サイトジェネレータは、あらかじめ用意したテンプレートにコンテンツデータを流し込むことで、自動的に静的サイトを生成するツールである。静的サイトジェネレータにはいくつかあるが、GitHub Pages がサポートしているのが、Jekyll (じきる) である。メジャーな静的サイトジェネレータの中では、使い方を覚えるのが比較的簡単に思えた。

[Jekyll - GitHub Pages]

<http://jekyllrb-jp.github.io/docs/github-pages/>

GitHub Pages 上だけでなく、自身の PC でも Jekyll を使うことができる。

- 自分の PC に Jekyll の実行環境を用意
- そこで静的サイトを生成
- Web サーバにファイルをアップ

電子出版やデジタルコレクションでの活用例を Code4Lib Journal でみることができる。

- Using Static Site Generators for Scholarly Publications and Open Educational Resources  
<https://journal.code4lib.org/articles/13861>
- Tools and Workflows for Collaborating on Static Website Projects  
<https://journal.code4lib.org/articles/12779>

## 5. Jekyll 以外の静的サイトジェネレータ

Jekyll 以外にも「Next.js」などの静的サイトジェネレータがある。それらの人気ランキング一覧は以下のとおり。

<https://jamstack.org/generators/>